

令和7年

福島県感染症発生動向調査事業報告書

(令和7年1月～12月)

令和 8年 3月

福島県感染症情報センター
(福島県衛生研究所)
福島県感染症情報解析委員会

はじめに

感染症発生動向調査は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、県が定める「福島県感染症発生動向調査事業実施要綱」により実施しています。

当研究所では、平成 13 年 7 月に福島県感染症情報センターを設置以降、県内の患者及び病原体情報を一元的に収集・解析し、週報・月報等を通して、随時、県民や医療関係機関に情報提供を行っています。

インフルエンザは、2024/2025 シーズンの定点報告数は前シーズンの約半数となり、流行開始も 46 週と遅く、2025 年 1 週をピークとする流行波が見られましたが、減少が早く、インフルエンザ B による第 2 波の流行が生じませんでした。また令和 7 年は伝染性紅斑および百日咳の流行年となり、全国の傾向と同様、全県的に報告数が増加しましたが、どちらも年内に流行が収束しました。令和 6 年下期で増加が見られたマイコプラズマ肺炎は、令和 7 年もほぼ同時期である第 29 週以降に全国の傾向と同様の増加が見られました。令和 6 年ほどの増加ではないものの、報告数の多い年となりました。

コロナ禍後の人流の再開により、数年ぶりに伝染性紅斑や百日咳の流行が生じる一方で、RS ウイルス感染症や A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病等、これまで報告数が多かった疾患の報告数が減少しているなど、感染状況は日々移り変わっています。感染症発生動向の早期探知により、感染拡大防止や早期診断に貢献できるよう、より一層、感染症サーベイランス機能の強化、公衆衛生情報の解析・発信に努めていく所存です。

結びに、本報告書の発行に当たり、定点医療機関をはじめ関係各位の御尽力に対し厚く御礼申し上げますとともに、今後とも本事業への一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 8 年 3 月

福島県衛生研究所長 伊藤 理

目 次

I	福島県感染症発生動向調査事業実施概要	
1	福島県感染症発生動向調査事業の実施概要	2
2	福島県感染症情報センターの概念図（患者情報の流れ）	4
3	令和7年報告週対応表	5
II	福島県感染症発生動向調査事業実施結果	
1	全数把握対象疾患の実施結果	8
2	全数把握対象疾患の実施結果（全国・福島県／令和5～7年）	15
3	定点把握対象疾患の実施結果	17
4	法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症の実施結果	49
5	法第14条第8項の規定に基づく把握の対象の実施結果	51
III	検査情報	
	2025年感染症発生動向調査事業報告（ウイルス検出報告）	54
	2025年感染症発生動向調査事業報告（細菌検出報告）	58

I 福島県感染症発生動向調査事業実施概要

1 福島県感染症発生動向調査事業の実施概要

1) 実施体制

(1) 福島県感染症発生動向調査事業実施要綱等

本事業の実施に関わる要綱等は、本誌IV 資料に掲げるとおりである。

(2) 指定届出医療機関（定点選定）

福島県感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、指定届出医療機関【患者定点：①小児科：28 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（88），（89），（91），（92），（98），（102），（103），（104），（106），（112）に掲げるものについては、小児科を標榜する医療機関を小児科定点として指定する.〕，②急性呼吸器感染症：48 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（90），（93），（97）については、前記で選定した小児科定点に加え、内科を標榜する医療機関を内科定点として指定し、両者を合わせて急性呼吸器感染症定点とする.〕，③眼科：13 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（94）及び（111）については、眼科を標榜する医療機関を眼科定点とする.〕，④STD：17 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（99），（100），（101），（113）については、産婦人科又は産科若しくは婦人科，医療法施行令第3条の2第1項第1号ハ及びニ（2）の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療科，泌尿器科又は皮膚科を標榜する医療機関をSTD 定点とする.〕，⑤基幹：7 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（92）のうち病原体がロタウイルスであるもの，（90），（97）のうち入院患者であるもの及び（95），（96），（105），（107），（108），（109），（110）については、患者を300人以上収容する病院であって内科及び外科を標榜する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）を二次医療圏域毎に1ヵ所以上、基幹定点とする.〕，⑥疑似症：11 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（118）については、診療報酬に基づく特定集中治療室管理料，小児特定集中治療室管理料又はハイケアユニット入院医療管理料の届出をしている医療機関や法に基づく感染症指定医療機関，マシガザリングにおいて、疑似症定点として選定することが疑似症発生状況の把握に有用な医療機関を疑似症定点とする.〕，及び病原体定点：18 定点〔選定された各患者定点の概ね10%を病原体定点とする.〕】を選定する。

(3) 福島県感染症発生動向調査企画委員会

本事業の推進を図るため、福島県感染症発生動向調査企画委員会を福島県感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき設置する。

(4) 福島県感染症情報解析委員会

収集した患者情報及び病原体情報をより専門的な観点から解析及び提供を行うため、福島県感染症発生動向調査企画委員会のもとに福島県感染症情報解析委員会を設置する。

2) 実施方法

(1) 情報収集

ア 福島県感染症発生動向調査事業実施要綱により、患者定点として選定された医療機関は、週単位（月曜日から日曜日まで）の場合は調査対象週の翌週の月曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の初日までに、患者情報を感染症サーベイランスシステム等で保健所に送信する。

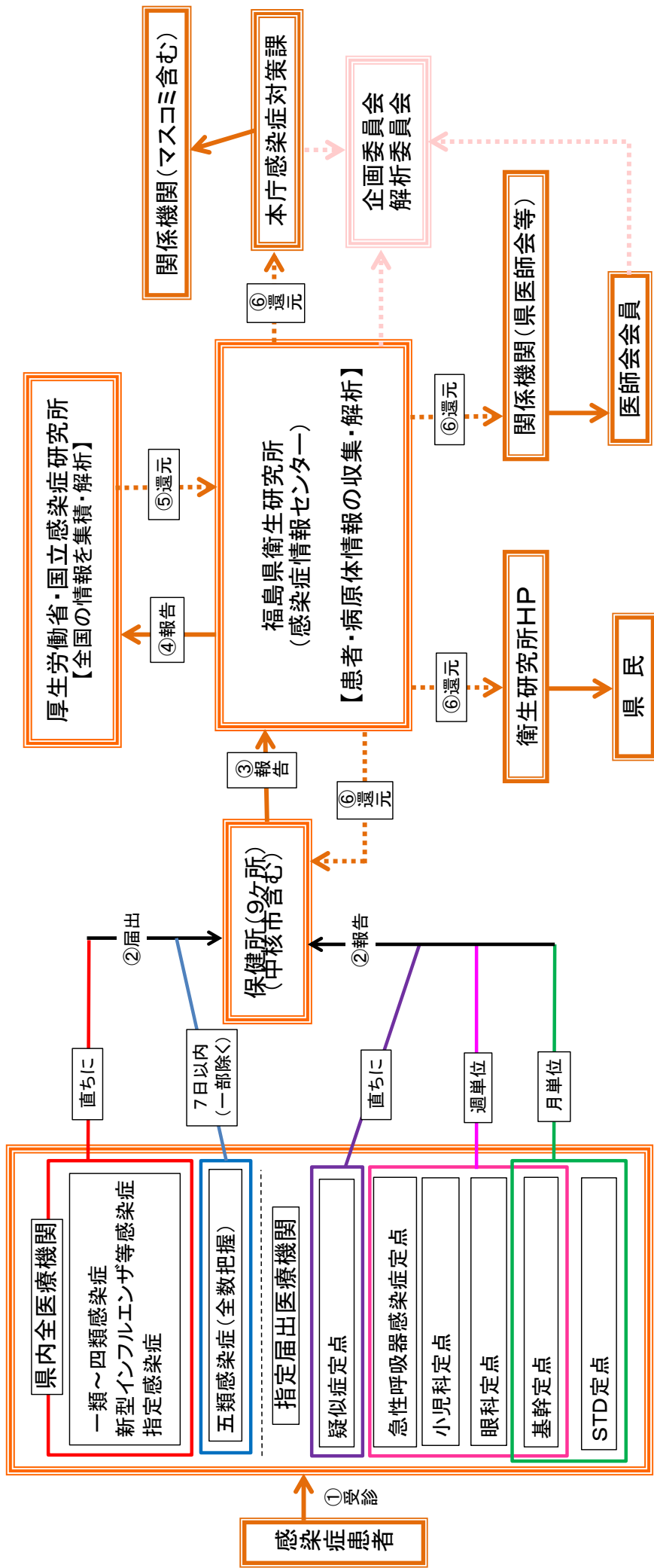
保健所は、患者定点から得られた患者情報を、原則として、週単位の場合は調査対象週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の初旬までに、福島県感染症情報センターへ感染症サーベイランスシステムにより報告する。

イ 福島県病原体検査実施要領により、各病原体定点から送付された検体は、福島県衛生研究所で検査を行い、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、福島県感染症情報センター及び福島県保健福祉部感染症対策課に報告する。

(2) 情報還元

福島県感染症情報センターは、患者情報及び病原体情報を週単位及び月単位で収集、解析し、その結果を全国情報と併せて、週報及び月報等として保健所や関係機関に提供するとともに、福島県衛生研究所ホームページ上に公開する。

2 福島県感染症情報センターの概念図(患者情報の流れ)



3 令和7年報告週対応表

週	報告期間	週	報告期間
1	12月30日～1月5日	27	6月30日～7月6日
2	1月6日～1月12日	28	7月7日～7月13日
3	1月13日～1月19日	29	7月14日～7月20日
4	1月20日～1月26日	30	7月21日～7月27日
5	1月27日～2月2日	31	7月28日～8月3日
6	2月3日～2月9日	32	8月4日～8月10日
7	2月10日～2月16日	33	8月11日～8月17日
8	2月17日～2月23日	34	8月18日～8月24日
9	2月24日～3月2日	35	8月25日～8月31日
10	3月3日～3月9日	36	9月1日～9月7日
11	3月10日～3月16日	37	9月8日～9月14日
12	3月17日～3月23日	38	9月15日～9月21日
13	3月24日～3月30日	39	9月22日～9月28日
14	3月31日～4月6日	40	9月29日～10月5日
15	4月7日～4月13日	41	10月6日～10月12日
16	4月14日～4月20日	42	10月13日～10月19日
17	4月21日～4月27日	43	10月20日～10月26日
18	4月28日～5月4日	44	10月27日～11月2日
19	5月5日～5月11日	45	11月3日～11月9日
20	5月12日～5月18日	46	11月10日～11月16日
21	5月19日～5月25日	47	11月17日～11月23日
22	5月26日～6月1日	48	11月24日～11月30日
23	6月2日～6月8日	49	12月1日～12月7日
24	6月9日～6月15日	50	12月8日～12月14日
25	6月16日～6月22日	51	12月15日～12月21日
26	6月23日～6月29日	52	12月22日～12月28日

Ⅱ 福島県感染症発生動向調査事業実施結果

1 全数把握対象疾患の実施結果

●一類感染症〔全数把握〕

(1) エボラ出血熱, (2) クリミア・コンゴ出血熱, (3) 痘そう, (4) 南米出血熱, (5) ペスト, (6) マールブルグ病, (7) ラッサ熱の届出はなかった。

●二類感染症〔全数把握〕

(8) 急性灰白髄炎の届出はなかった。

(9) 結核の届出は 150 例であった。

〔結核_年別保健所別届出数〕

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
R7年	36	10	48	6	8	12	0	4	26	150
R6年	19	6	57	8	10	16	1	1	22	140
R5年	33	9	31	2	5	14	2	2	25	123

(10) ジフテリア, (11) 重症急性呼吸器症候群 (病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る.), (12) 中東呼吸器症候群 (病原体がMERSコロナウイルスであるものに限る.), (13) 鳥インフルエンザ (H5N1), (14) 鳥インフルエンザ (H7N9) の届出はなかった。

●三類感染症〔全数把握〕

(15) コレラの届出はなかった。(16) 細菌性赤痢の届出は 1 例であった。

(17) 腸管出血性大腸菌感染症の届出は 60 例であった。

〔腸管出血性大腸菌_年別保健所別届出数〕

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
R7年	2	4	16	8	7	11	0	0	12	60
R6年	1	10	10	5	3	19	0	1	7	56
R5年	3	2	8	7	2	5	0	2	1	30

〔腸管出血性大腸菌_年別月別届出数〕

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
R7年	3	2	1	0	3	3	12	13	11	6	2	4	60
R6年	0	1	0	2	3	3	18	8	2	10	7	2	56
R5年	1	0	0	1	1	4	5	12	3	1	1	1	30

[腸管出血性大腸菌_年別型別届出数]

型	R7年	R6年	R5年
O 5	0	2	0
O 8	1	1	0
O 26	4	9	2
O 55	0	1	0
O 91	2	0	1
O 103	9	3	2
O 111	7	3	4
O 115	1	1	0
O 121	2	0	1
O 145	0	2	0
O 146	3	0	0
O 148	0	1	0
O 157	27	32	17
不明他	4	1	3
計	60	56	30

(18) 腸チフス, (19) パラチフスの届出はなかった.

●四類感染症 [全数把握]

(20) E型肝炎の届出は3例であり, 県南から2例 [30週 (50歳代), 37週 (50歳代)], 県中から1例 [43週 (60歳代)] であった. (22) A型肝炎の届出は県北から1例 [26週 (50歳代)] であった. (21) ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む.), (23) エキノコックス症, (24) エムポックス, (25) 黄熱の届出はなかった. (26) オウム病の届出は郡山市から1例 [48週 (40歳代)] であった. (27) オムスク出血熱, (28) 回帰熱, (29) キャサヌル森林病, (30) Q熱, (31) 狂犬病, (32) コクシジオイデス症, (33) ジカウイルス感染症, (34) 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がSFTSウイルスであるものに限る.), (35) 腎症候性出血熱, (36) 西部ウマ脳炎, (37) ダニ媒介脳炎, (38) 炭疽, (39) チクングニア熱の届出はなかった.

(40) つつが虫病の届出は17例あり, 県北から1例 [28週 (70歳代)], 郡山市から3例 [20週 (70歳代), 46週 (70歳代), 51週 (80歳代)], 県南から8例 [47週 (70歳代2例), 48週 (60歳代), 49週 (40歳代1例, 60歳代1例, 70歳代1例), 50週 (50歳代1例, 60歳代1例)], 会津から1例 [18週 (80歳代)], 南会津から1例 [18週 (80歳代)], 相双から3例 [20週 (80歳代), 48週 (70歳代), 52週 (90歳代)] であった.

[つつが虫病_年別保健所別届出数]

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
R7年	0	1	3	0	8	1	1	3	0	17
R6年	1	2	4	5	9	0	1	1	0	23
R5年	1	3	5	4	4	0	0	0	0	17

[つつが虫病_年別月別届出数]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
R7年	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0	5	7	17
R6年	0	0	0	1	2	0	0	0	1	3	13	3	23
R5年	0	0	0	3	2	0	0	0	0	1	9	2	17

(41) デング熱の届出は県北から1例〔28週(40歳代)〕であった。(42) 東部ウマ脳炎, (43) 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く.), (44) ニパウイルス感染症, (45) 日本紅斑熱, (46) 日本脳炎, (47) ハンタウイルス肺症候群, (48) Bウイルス病, (49) 鼻疽, (50) ブルセラ症, (51) ベネズエラウマ脳炎, (52) ヘンドラウイルス感染症, (53) 発しんチフス, (54) ボツリヌス症, (55) マラリア, (56) 野兎病, (57) ライム病, (58) リッサウイルス感染症, (59) リフトバレー熱, (60) 類鼻疽の届出はなかった。

(61) レジオネラ症の届出は43例であった。

[レジオネラ症_年別保健所別届出数]

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
R7年	3	3	18	3	7	3	0	5	1	43
R6年	9	3	11	5	2	5	0	3	4	42
R5年	8	2	14	1	4	4	1	8	5	47

[レジオネラ症_年別推定感染原因・経路別届出数]

	報告例	推定される感染原因・経路
R7年	43例	水系感染(13例), 塵埃感染(5例), その他・不明(25例)
R6年	42例	水系感染(14例), 塵埃感染(3例), その他・不明(25例)
R5年	47例	水系感染(13例), 塵埃感染(4例), 水系及び塵埃感染(1例), その他・不明(29例)

(62) レプトスピラ症, (63) ロッキー山紅斑熱の届出はなかった。

●五類感染症〔全数把握〕

(64) アメーバ赤痢の届出は4例あり、福島市から2例〔16週(60歳代)、27週(10歳代)], 県北から1例〔4週(70歳代)], いわき市から1例〔41週(50歳代)]であった。

(65) ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く.)の届出はなかった。

(66) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症の届出は19例あり、福島市から3例〔4週(70歳代)、13週(70歳代)、28週(60歳代)], 郡山市から5例〔2週(60歳代)、7週(70歳代)、37週(80歳代)、38週(70歳代)、49週(50歳代)], 会津から10例〔5週(70歳代)、8週(90歳代)、13週(80歳代)、18週(90歳代)、23週(70歳代)、33週(70歳代2例)、34週(60歳代)、36週(70歳代)、44週(80歳代)], いわき市から1例〔33週(70歳代)]であった。

〔カルバペネム耐性腸内細菌目細菌_年別保健所別届出数〕

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
R7年	3	0	5	0	0	10	0	0	1	19
R6年	1	4	21	0	0	12	0	0	1	39
R5年	2	1	14	0	0	12	0	0	0	29

(67) 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く.)の届出はなかった。

(68) 急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く.)の届出は2例あり、郡山市から2例〔1週(10歳代)、48週(50歳代)]であった。

(69) クリプトスポリジウム症の届出はなかった。

(70) クロイツフェルト・ヤコブ病の届出は7例あり、福島市から4例〔4週(50歳代)、20週(60歳代)、36週(70歳代)、44週(60歳代)], 郡山市から3例〔7週(80歳代)、30週(80歳代)、37週(80歳代)]であった。

(71) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の届出は35例であった。

〔劇症型溶血性レンサ球菌感染症_年別保健所別届出数〕

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
R7年	11	2	13	0	1	1	0	0	7	35
R6年	20	1	11	0	1	4	0	0	3	40
R5年	0	0	6	2	0	0	0	0	2	10

〔劇症型溶血性レンサ球菌感染症_年齢別届出数〕

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
R7年	1	0	0	2	1	3	7	21	35
R6年	1	1	0	3	10	3	7	15	40
R5年	0	1	0	0	1	2	2	4	10

(72) 後天性免疫不全症候群の届出は4例あり、福島市から4例〔4週(20歳代:その他)、6週(30歳代:AIDS)、14週(20歳代:無症候)、49週(30歳代:その他)であった。

〔後天性免疫不全症候群_年別推定感染原因・経路別届出数〕

	報告例	推定される感染原因・経路
R7年	4例	性的接触(異性間1例、同性間3例)
R6年	8例	性的接触(異性間1例、同性間5例)、不明(2例)
R5年	6例	性的接触(同性間3例)、不明(3例)

(73) ジアルジア症の届出はなかった。

(74) 侵襲性インフルエンザ菌感染症の届出は10例あり、県北から1例〔44週(60歳代)〕、郡山市から6例〔16週(80歳代)、26週(70歳代)、27週(80歳代)、32週(90歳代)、33週(50歳代)、50週(70歳代)〕、会津から2例〔8週(50歳代)、43週(60歳代)〕、いわき市から1例〔35週(40歳代)〕であった。

(75) 侵襲性髄膜炎菌感染症の届出は1例あり、郡山市から1例〔22週(60歳代)〕であった。

(76) 侵襲性肺炎球菌感染症の届出は37例であった。

〔侵襲性肺炎球菌感染症_年別保健所別届出数〕

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
R7年	7	3	11	2	1	4	2	1	6	37
R6年	4	2	6	1	0	5	0	0	5	23
R5年	5	2	3	0	1	6	0	0	4	21

〔侵襲性肺炎球菌感染症_年齢別届出数〕

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
R7年	6	1	0	0	0	1	7	22	37
R6年	1	1	1	1	1	0	2	16	23
R5年	3	1	0	1	2	4	2	8	21

(77) 水痘（入院例に限る。）の届出は5例あり、福島市から1例〔24週（学童）〕、郡山市から1例〔21週（70歳代）〕、県中から2例〔26週（60歳代）, 38週（乳児）〕、会津から1例〔1週（40歳代）〕であった。

(78) 先天性風しん症候群の届出はなかった。

(79) 梅毒の届出は138例であった。

〔梅毒_年別保健所別届出数〕

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
R7年	30	5	37	2	14	15	0	3	32	138
R6年	22	6	62	1	8	7	0	6	23	135
R5年	27	5	69	4	13	7	0	6	26	157

〔梅毒_年別年齢群別届出数〕

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
R7年	1	0	29	34	25	36	7	6	138
R6年	1	3	26	26	33	28	12	6	135
R5年	0	1	31	45	36	25	9	10	157

〔梅毒_年別推定感染原因・経路別届出数〕

	報告例	推定される感染原因・経路
R7年	138例	性的接触（異性間103例, 同性間5例, 詳細不明7例）, その他・不明（22例）, 母子感染（1例）
R6年	135例	性的接触（異性間113例, 同性間3例, 詳細不明7例）, その他・不明（11例）, 母子感染（1例）
R5年	157例	性的接触（異性間117例, 同性間4例, 同性間異性間1例, 詳細不明14例）, その他・不明（21例）

(80) 播種性クリプトコックス症の届出は 6 例あり，福島市から 2 例〔12 週（70 歳代），43 週（幼児）〕，郡山市から 3 例〔2 週（60 歳代），32 週（80 歳代），47 週（50 歳代）〕，いわき市から 1 例〔34 週（20 歳代）〕であった。

(81) 破傷風の届出は 1 例あり，福島市から 1 例〔30 週（70 歳代）〕であった。

(82) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症，(83) バンコマイシン耐性腸球菌感染症の届出はなかった。

(84) 百日咳の届出は 1244 例であった。

〔百日咳_年別保健所別届出数〕

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
R7年	106	120	396	177	74	86	24	141	120	1244
R6年	4	1	2	5	0	2	0	0	5	19
R5年	5	13	3	4	0	0	0	0	0	25

〔百日咳_年別年齢群別届出数〕

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
R7年	348	718	30	29	41	37	16	25	1244
R6年	6	5	3	2	1	1	1	0	19
R5年	14	2	4	2	1	2	0	0	25

(85) 風しん，(86) 麻しん，(87) 薬剤耐性アシネトバクター感染症の届出はなかった。

●新型インフルエンザ等感染症〔全数把握〕

(114) 新型インフルエンザ，(115) 再興型インフルエンザ，(116) 新型コロナウイルス感染症，(117) 再興型新型コロナウイルス感染症の報告はなかった。

●指定感染症〔全数把握〕

該当なし

2 全数把握対象疾患の実施結果（全国・福島県／令和5～7年）

対象疾患		全 国			福 島 県		
		令和7年*	令和6年	令和5年	令和7年*	令和6年	令和5年
一類	エボラ出血熱						
	クリミア・コンゴ出血熱						
	痘そう						
	南米出血熱						
	ペスト						
	マールブルグ病						
	ラッサ熱						
二類	急性灰白髄炎						
	結核	14,480	16,238	15,382	150	140	123
	ジフテリア						
	重症急性呼吸器症候群(※1)						
	中東呼吸器症候群(※2)						
	鳥インフルエンザ(H5N1)						
	鳥インフルエンザ(H7N9)						
三類	コレラ	4	2	2			
	細菌性赤痢	59	74	47	1	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	4,319	3,748	3,813	60	56	30
	腸チフス	32	42	39			
	パラチフス	8	7	9			
四類	E型肝炎	585	527	552	3	2	2
	ウエストナイル熱						
	A型肝炎	133	137	56	1	1	
	エキノкокクス症	26	20	13			
	エムボックス	23	19	225			
	黄熱						
	オウム病	12	4	8	1		
	オムスク出血熱						
	回帰熱	6	11	23			
	キャサスル森林病						
	Q熱		6	1			
	狂犬病						
	コクシジオイデス症	7	4	4			
	ジカウイルス感染症	1	4	2			
	重症熱性血小板減少症候群(※3)	191	122	134			
	腎症候性出血熱						
	西部ウマ脳炎						
	ダニ媒介脳炎	2	2				
	炭疽						
	チクングニア熱	21	10	7			
	つつが虫病	290	353	444	17	23	17
	デング熱	164	231	176	1		
	東部ウマ脳炎						
	鳥インフルエンザ(※4)						
	ニパウイルス感染症						
	日本紅斑熱	674	523	501			
	日本脳炎	4	9	6			
	ハンタウイルス肺症候群						
	Bウイルス病						
	鼻疽						
	ブルセラ症	2	5	2			
	ベネズエラウマ脳炎						
	ヘンドラウイルス感染症						
	発しんチフス						
ボツリヌス症	1	7					
マラリア	22	45	36				
野兔病							
ライム病	18	25	28				
リッサウイルス感染症							
リフトバレー熱							
類鼻疽	1	2					
レジオネラ症	2,413	2,428	2,288	43	42	47	
レプトスピラ症	63	53	49				
ロッキー山紅斑熱							

対象疾患		全 国			福 島 県		
		令和7年*	令和6年	令和5年	令和7年*	令和6年	令和5年
五類	アメーバ赤痢	449	523	489	4	3	4
	ウイルス性肝炎（A・E型を除く）	260	228	244		5	4
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1,197	2,293	2,113	19	39	29
	急性弛緩性麻痺	37	48	55			
	急性脳炎(※5)	630	633	658	2	2	5
	クリプトスポリジウム症	23	27	16			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	184	172	170	7	3	7
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1,382	1,893	949	35	40	10
	後天性免疫不全症候群	866	1,010	951	4	8	6
	ジアルジア症	35	42	39		1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	650	651	567	10	3	5
	侵襲性髄膜炎菌感染症	84	66	21	1		
	侵襲性肺炎球菌感染症	3,391	2,555	1,988	37	23	21
	水痘（入院例に限る。）	665	486	407	5	6	2
	先天性風しん症候群						
	梅毒	13,530	14,816	15,078	138	135	157
	播種性クリプトコックス症	178	191	173	6	4	2
	破傷風	94	86	110	1		1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	92	124	115			
百日咳	89,387	4,093	1,015	1,244	19	25	
風しん	11	9	12				
麻しん	265	45	28				
薬剤耐性アシネトバクター感染症	9	6	14				
新型インフルエンザ等	新型インフルエンザ						
	再興型インフルエンザ						
	新型コロナウイルス感染症(※6)						65,263
	再興型新型コロナウイルス感染症						

*令和7年のデータは未確定です

(※1) 病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る

(※2) 病原体がMERSコロナウイルスであるものに限る

(※3) 病原体がSFTSウイルスであるものに限る

(※4) H5N1及びH7N9を除く

(※5) ウエストナイル脳炎, 西部ウマ脳炎, ダニ媒介脳炎, 東部ウマ脳炎, 日本脳炎, ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く

(※6) 令和3年2月13日より調査開始(令和5年5月7日まで)

3 定点把握対象疾患の実施結果

● 定点把握対象疾患

*令和7年のデータは未確定です

- (90) インフルエンザ〔鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く.〕 (急性呼吸器感染症定点)
- (93) 急性呼吸器感染症〔インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く.), RS ウイルス感染症, 咽頭結膜熱, A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎, クラミジア肺炎(オウム病を除く.), 新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に, 中華人民共和国から世界保健機関に対して, 人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る.)であるものに限る.), 百日咳, ヘルパンギーナ, マイコプラズマ肺炎を除く.〕 (急性呼吸器感染症定点)
- (97) 新型コロナウイルス感染症〔病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して, 人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る.)であるものに限る.〕 (急性呼吸器感染症定点)
- (88) RS ウイルス感染症 (小児科定点)
- (89) 咽頭結膜熱 (小児科定点)
- (91) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (小児科定点)
- (92) 感染性胃腸炎 (小児科定点)
- (98) 水痘 (小児科定点)
- (102) 手足口病 (小児科定点)
- (103) 伝染性紅斑 (小児科定点)
- (104) 突発性発しん (小児科定点)
- (106) ヘルパンギーナ (小児科定点)
- (112) 流行性耳下腺炎 (小児科定点)
- (94) 急性出血性結膜炎 (眼科定点)
- (111) 流行性角結膜炎 (眼科定点)
- (95) クラミジア肺炎〔オウム病を除く.〕 (基幹定点)
- (96) 細菌性髄膜炎 (基幹定点)
- (97) 新型コロナウイルス感染症〔病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して, 人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る.)であるものに限る. 入院患者に限る.〕 (基幹定点)
- (107) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点)
- (108) 無菌性髄膜炎 (基幹定点)
- (90) インフルエンザ〔鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く.〕(入院患者に限る.) (基幹定点)
- (92) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る.) (基幹定点)
- (99) 性器クラミジア感染症 (STD 定点)
- (100) 性器ヘルペスウイルス感染症 (STD 定点)

週報対象疾患*

(101) 尖圭コンジローマ	(STD 定点)	月報対象疾患*
(113) 淋菌感染症	(STD 定点)	
(105) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	(基幹定点)	
(109) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(基幹定点)	
(110) 薬剤耐性緑膿菌感染症	(基幹定点)	

● 指定届出医療機関患者定点数（地域別）

（2025年第1週－第4週）

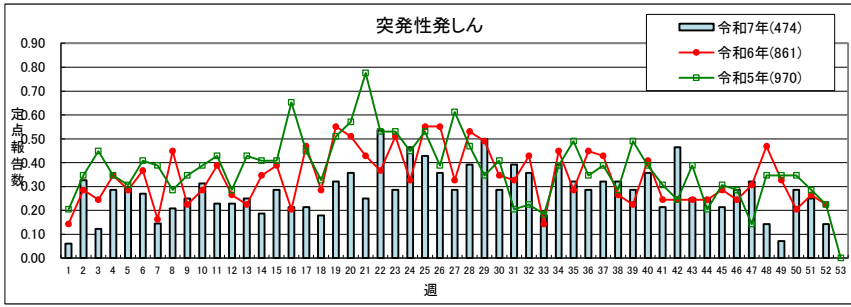
	インフルエンザ /COVID-19 定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点	STD 定点
福島市	12	7	2	1	3
県北	9	5	2	0	2
郡山市	13	8	2	1	3
県中	9	5	1	0	2
県南	7	4	1	1	1
会津	10	6	2	1	2
南会津	3	2	0	1	0
相双	6	4	1	1	1
いわき市	13	8	2	1	3
計	82	49	13	7	17

（2025年第5週－第14週）

	インフルエンザ /COVID-19 定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点	STD 定点
福島市	12	7	2	1	3
県北	8	4	2	0	2
郡山市	13	8	2	1	3
県中	9	5	1	0	2
県南	7	4	1	1	1
会津	10	6	2	1	2
南会津	3	2	0	1	0
相双	6	4	1	1	1
いわき市	13	8	2	1	3
計	81	48	13	7	17

(2025年第15週－第52週)

	急性呼吸器 感染症定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点	STD 定点
福島市	7	4	2	1	3
県北	4	2	2	0	2
郡山市	9	5	2	1	3
県中	5	3	1	0	2
県南	3	2	1	1	1
会津	6	4	2	1	2
南会津	2	1	0	1	0
相双	3	2	1	1	1
いわき市	9	5	2	1	3
計	48	28	13	7	17



(104)突発性発しん (小児科定点)

定点からの年間報告数は474人であった。
年齢構成では、前年と同様、1歳以下の報告が8割超を占めた。

流行状況の表記はありません

定点当たり (報告数)	令和7年																										
	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
福島市	-	0.57	0.29	0.86	0.43	0.14	0.14	0.29	-	0.29	0.71	0.57	0.43	0.14	0.25	-	-	0.25	-	0.25	0.25	0.50	0.25	0.25	-	0.50	0.50
県北	-	-	-	-	-	0.25	-	0.75	0.25	-	0.25	-	0.50	0.50	-	1.50	1.00	-	1.00	1.00	0.50	1.00	0.50	1.50	1.00	2.00	-
郡山市	-	0.13	0.13	-	0.13	0.13	-	-	0.13	0.25	0.13	-	-	-	0.40	0.40	0.20	-	0.60	0.20	0.40	0.20	-	0.20	0.40	-	0.20
県中	-	0.40	-	0.20	0.60	0.20	-	0.40	0.40	0.20	0.20	0.60	-	0.33	0.33	-	-	0.33	-	0.33	-	0.33	1.33	0.67	0.33	0.67	1.00
県南	-	-	-	0.50	0.25	0.25	-	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	0.50	-	-	1.00	-	-	-
会津	-	0.17	-	0.50	0.50	0.33	0.50	0.33	0.33	0.33	0.33	-	0.33	0.17	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.25	-	0.50	0.50	-	-
南会津	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
相双	0.50	0.75	0.75	0.50	1.25	0.50	0.50	0.50	0.50	0.75	0.50	0.50	0.50	0.50	-	-	-	-	0.50	-	-	1.00	-	-	1.00	-	0.50
いわき市	0.13	0.63	-	-	-	0.25	-	0.13	0.13	0.25	0.25	0.38	0.25	0.38	0.40	0.20	0.20	0.20	0.60	1.00	0.20	0.60	0.80	0.60	0.40	0.40	0.20
R7	0.06	0.33	0.12	0.29	0.29	0.27	0.15	0.21	0.25	0.31	0.23	0.23	0.25	0.19	0.29	0.21	0.21	0.18	0.32	0.36	0.25	0.54	0.29	0.46	0.43	0.36	0.29
R6	0.14	0.29	0.24	0.35	0.29	0.37	0.16	0.45	0.22	0.29	0.39	0.27	0.22	0.35	0.39	0.20	0.47	0.29	0.55	0.51	0.43	0.37	0.51	0.33	0.55	0.55	0.33
R5	0.20	0.35	0.45	0.35	0.31	0.41	0.39	0.29	0.35	0.39	0.43	0.29	0.43	0.41	0.41	0.65	0.45	0.33	0.51	0.57	0.78	0.53	0.53	0.45	0.53	0.39	0.61

定点当たり (報告数)	令和7年																											合計
	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w			
福島市	1.00	1.00	0.25	0.50	1.00	-	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	1.00	0.50	0.25	-	0.25	0.25	0.75	0.25	0.25	-	0.50	0.50	-	-	(83)	
県北	-	1.00	-	1.00	1.00	-	-	1.00	1.50	-	1.00	0.50	1.00	-	0.50	2.00	-	0.50	0.50	1.50	0.50	-	0.50	-	-	-	(60)	
郡山市	0.20	0.40	0.60	0.60	-	-	0.80	0.20	0.20	0.80	0.60	0.20	-	0.20	0.40	-	0.20	-	0.20	0.20	-	0.20	0.40	-	0.20	-	(57)	
県中	0.67	1.00	0.33	0.67	0.67	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	0.33	-	-	0.33	-	-	0.33	0.33	-	-	(57)	
県南	-	-	0.50	-	-	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	(15)	
会津	-	0.50	-	-	-	0.25	-	-	-	-	0.25	0.25	-	-	0.25	0.25	0.25	-	-	0.25	-	0.25	-	0.25	-	-	(42)	
南会津	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(2)	
相双	0.50	0.50	-	-	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	-	-	1.00	0.50	-	0.50	0.50	0.50	-	-	0.50	1.00	0.50	-	(59)	
いわき市	0.60	-	0.40	0.40	0.20	-	0.60	0.60	0.20	0.20	0.80	0.80	0.60	1.00	0.20	0.60	0.60	0.40	0.20	0.40	-	-	0.20	-	0.40	-	(99)	
R7	0.39	0.50	0.29	0.39	0.36	0.18	0.39	0.32	0.29	0.32	0.32	0.29	0.36	0.21	0.46	0.25	0.25	0.21	0.29	0.32	0.14	0.07	0.29	0.25	0.14	-	(474)	
R6	0.53	0.49	0.35	0.33	0.43	0.14	0.45	0.29	0.45	0.43	0.27	0.22	0.41	0.24	0.24	0.24	0.24	0.29	0.24	0.31	0.47	0.33	0.20	0.27	0.22	-	(861)	
R5	0.47	0.35	0.41	0.20	0.22	0.18	0.39	0.49	0.35	0.39	0.29	0.49	0.39	0.31	0.24	0.39	0.20	0.31	0.29	0.14	0.35	0.35	0.35	0.29	0.22	-	(970)	

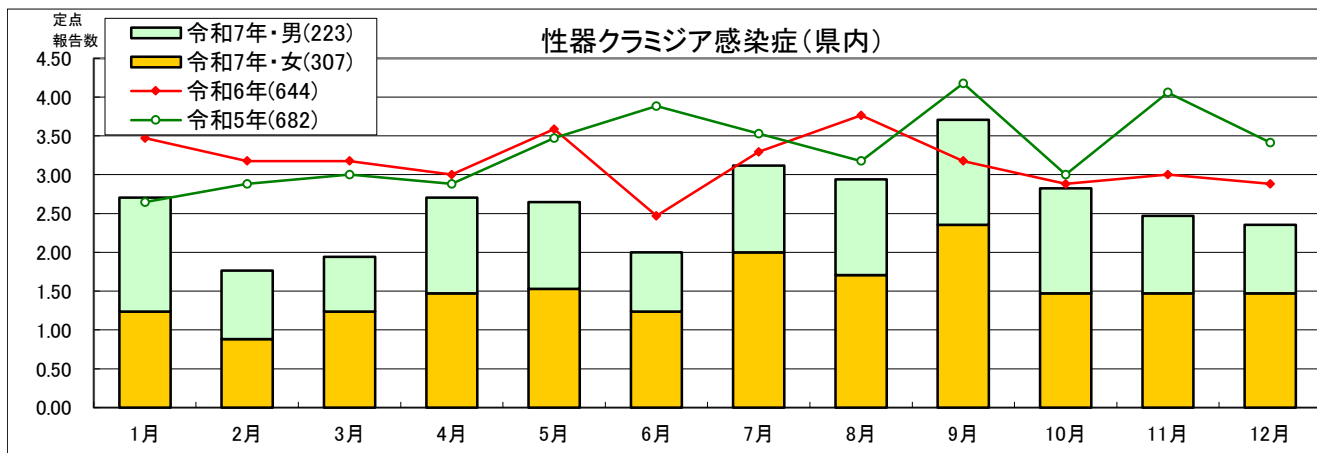
年齢構成

	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~	合計
R7	4	98	290	49	18	8	1	4	2	0	0	0	0	0	474
R6	7	166	554	92	27	10	1	1	0	0	0	0	1	2	861

	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~	合計
R7	0.8%	20.7%	61.2%	10.3%	3.8%	1.7%	0.2%	0.8%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
R6	0.8%	19.3%	64.3%	10.7%	3.1%	1.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	100.0%

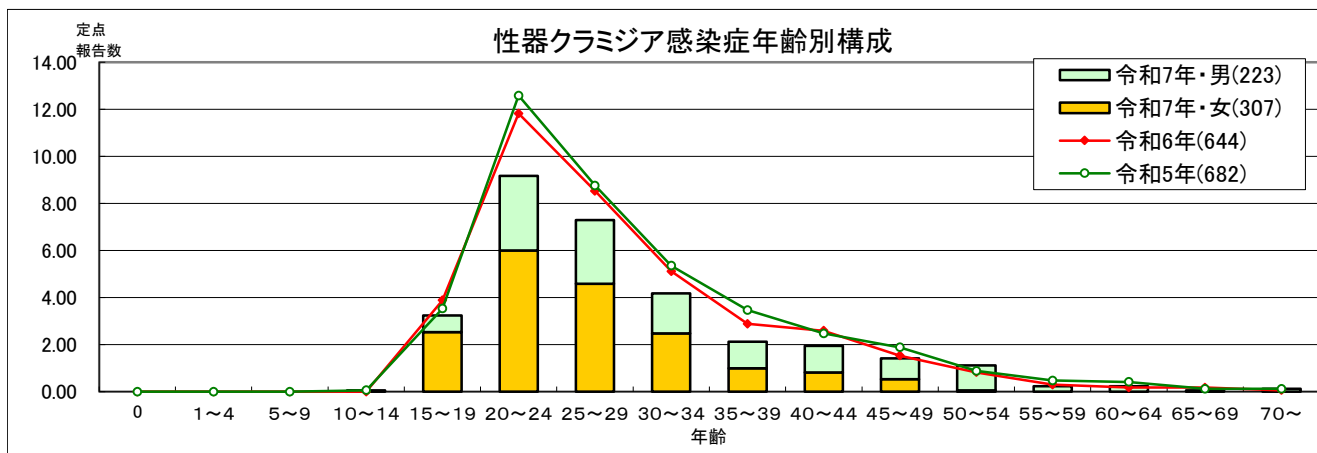
(99) 性器クラミジア感染症 (STD定点)

定点からの年間報告数は530例(男223例, 女307例)であり, 20歳代の報告が多かった. また, 全国との年齢構成の比較では, 全国とほぼ同様であった.

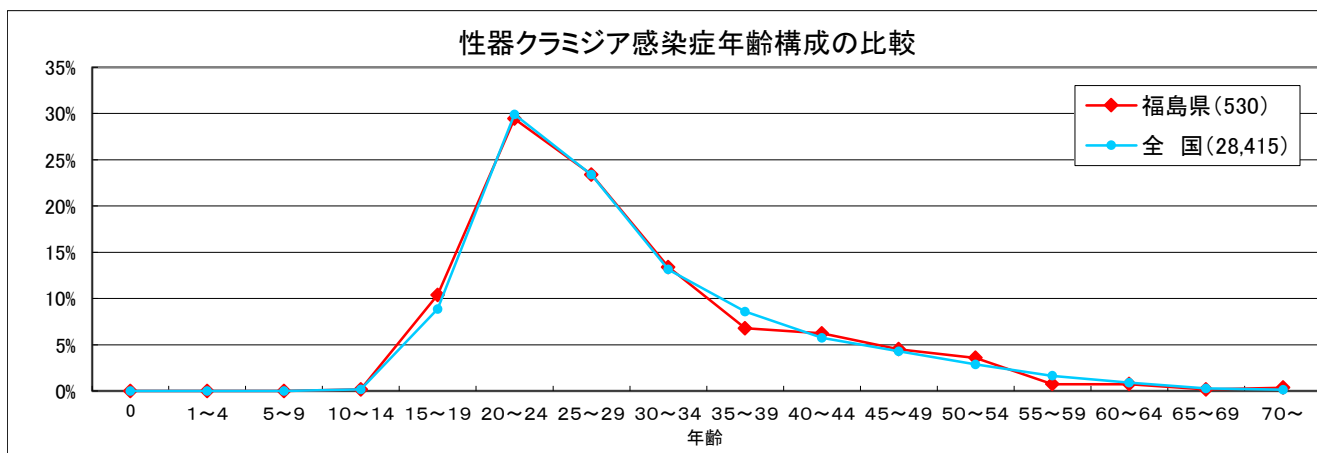


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和7年・男(223)	1.47	0.88	0.71	1.24	1.12	0.76	1.12	1.24	1.35	1.35	1.00	0.88
令和7年・女(307)	1.24	0.88	1.24	1.47	1.53	1.24	2.00	1.71	2.35	1.47	1.47	1.47
令和7年(530)	2.71	1.76	1.94	2.71	2.65	2.00	3.12	2.94	3.71	2.82	2.47	2.35
令和6年(644)	3.47	3.18	3.18	3.00	3.59	2.47	3.29	3.76	3.18	2.88	3.00	2.88
令和5年(682)	2.65	2.88	3.00	2.88	3.47	3.88	3.53	3.18	4.18	3.00	4.06	3.41

令和5~7年 県内の年齢別構成

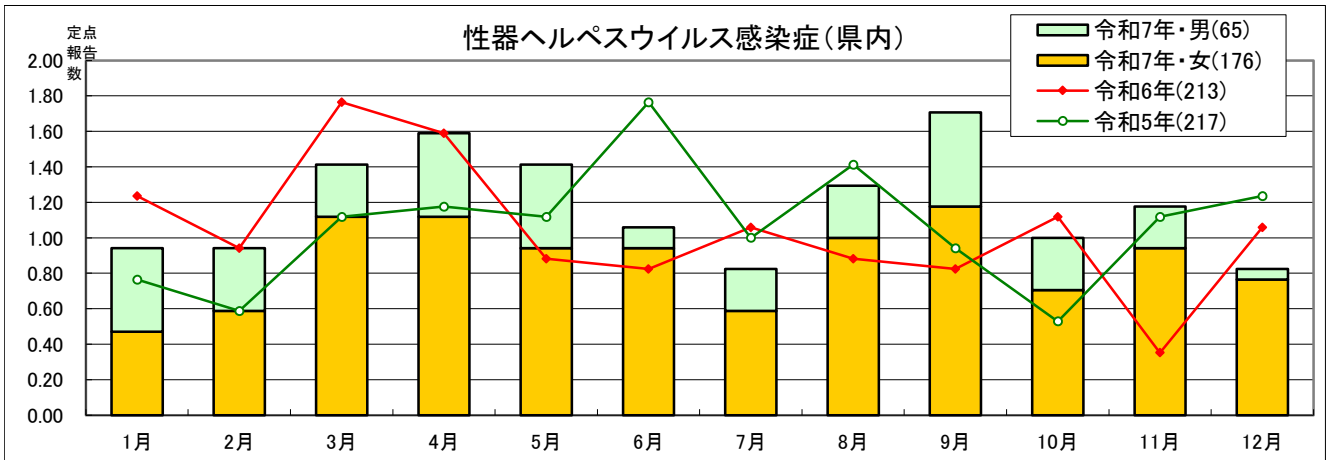


令和7年 年齢別構成の比較



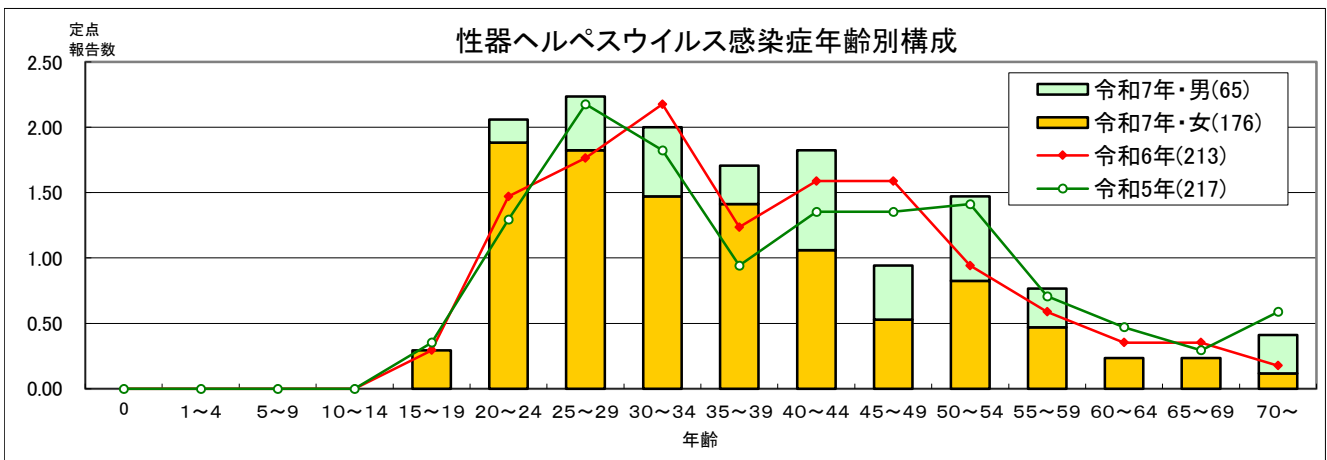
(100) 性器ヘルペスウイルス感染症 (STD定点)

定点からの年間報告数は241例(男65例, 女176例)であり, 20~44歳の報告が多かった. また, 全国との年齢構成の比較では, 20~40代の患者の占める割合が高かった.

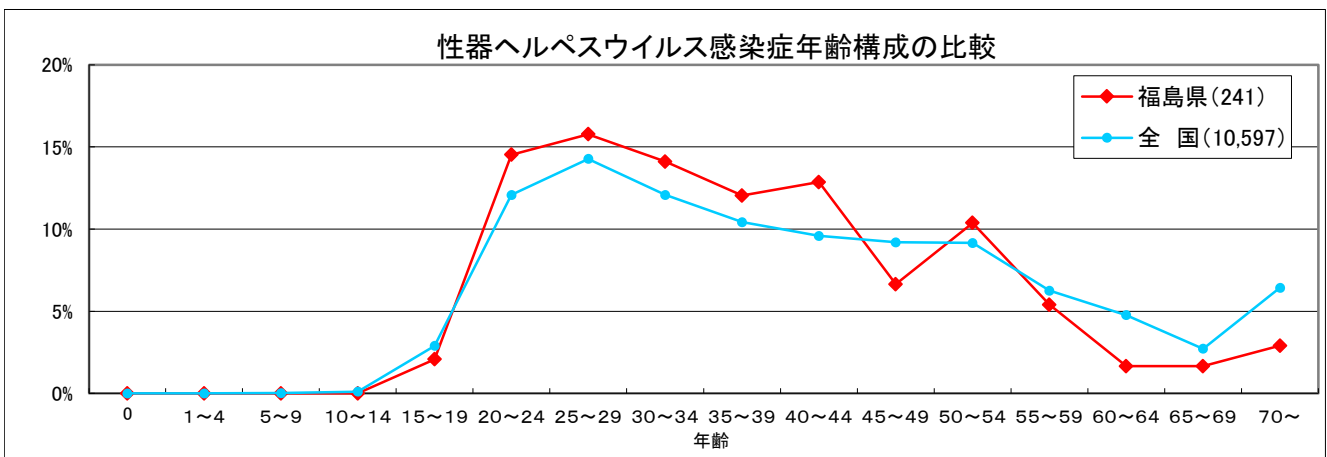


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和7年・男(65)	0.47	0.35	0.29	0.47	0.47	0.12	0.24	0.29	0.53	0.29	0.24	0.06
令和7年・女(176)	0.47	0.59	1.12	1.12	0.94	0.94	0.59	1.00	1.18	0.71	0.94	0.76
令和7年(241)	0.94	0.94	1.41	1.59	1.41	1.06	0.82	1.29	1.71	1.00	1.18	0.82
令和6年(213)	1.24	0.94	1.76	1.59	0.88	0.82	1.06	0.88	0.82	1.12	0.35	1.06
令和5年(217)	0.76	0.59	1.12	1.18	1.12	1.76	1.00	1.41	0.94	0.53	1.12	1.24

令和5~7年 県内の年齢別構成



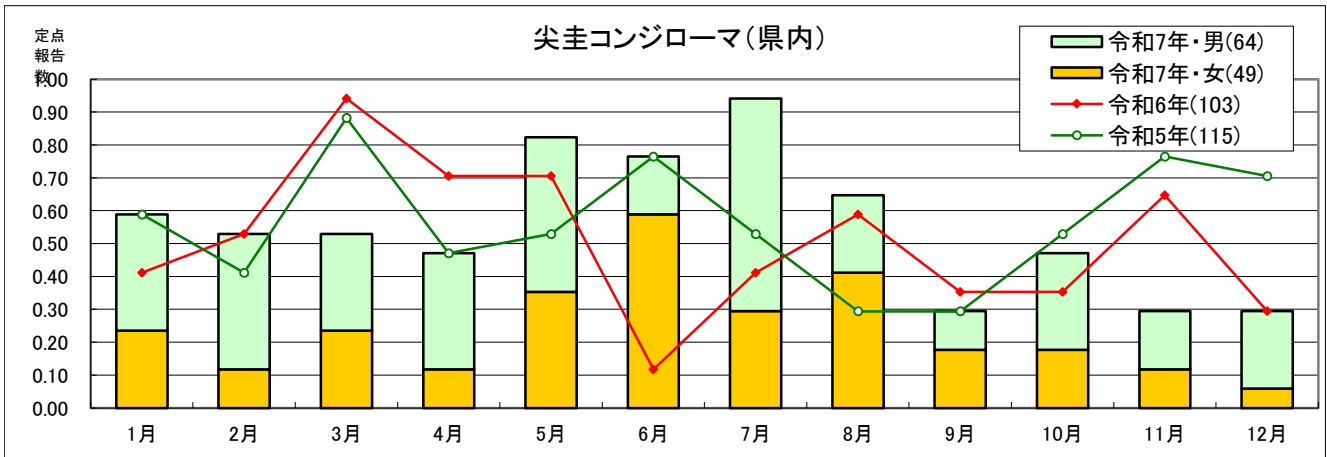
令和7年 年齢別構成の比較



(101)尖圭コンジローマ

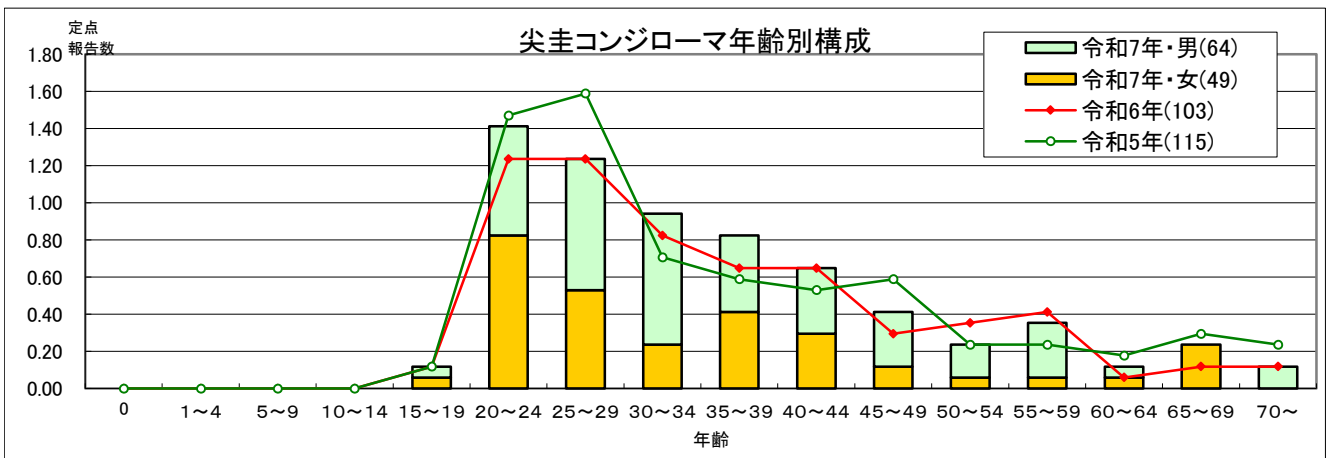
(STD定点)

定点からの年間報告数は113例(男64例, 女49例)であり, 男女ともに20歳代の報告が多かった. また, 全国の年齢構成とほぼ同一であった.

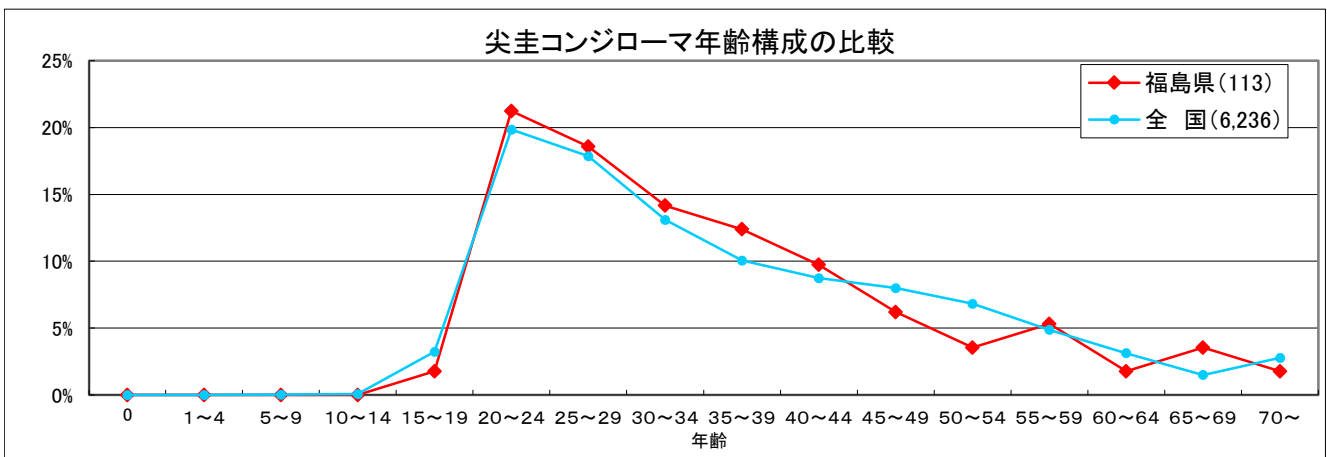


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和7年・男(64)	0.35	0.41	0.29	0.35	0.47	0.18	0.65	0.24	0.12	0.29	0.18	0.24
令和7年・女(49)	0.24	0.12	0.24	0.12	0.35	0.59	0.29	0.41	0.18	0.18	0.12	0.06
令和7年(113)	0.59	0.53	0.53	0.47	0.82	0.76	0.94	0.65	0.29	0.47	0.29	0.29
令和6年(103)	0.41	0.53	0.94	0.71	0.71	0.12	0.41	0.59	0.35	0.35	0.65	0.29
令和5年(115)	0.59	0.41	0.88	0.47	0.53	0.76	0.53	0.29	0.29	0.53	0.76	0.71

令和5~7年 県内の年齢別構成



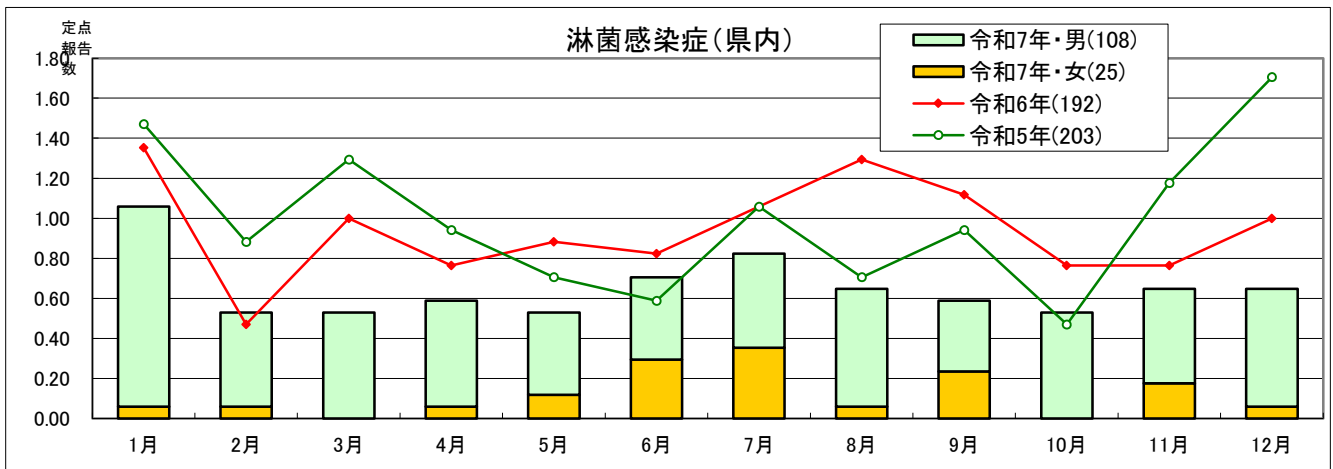
令和7年 年齢別構成の比較



(113) 淋菌感染症

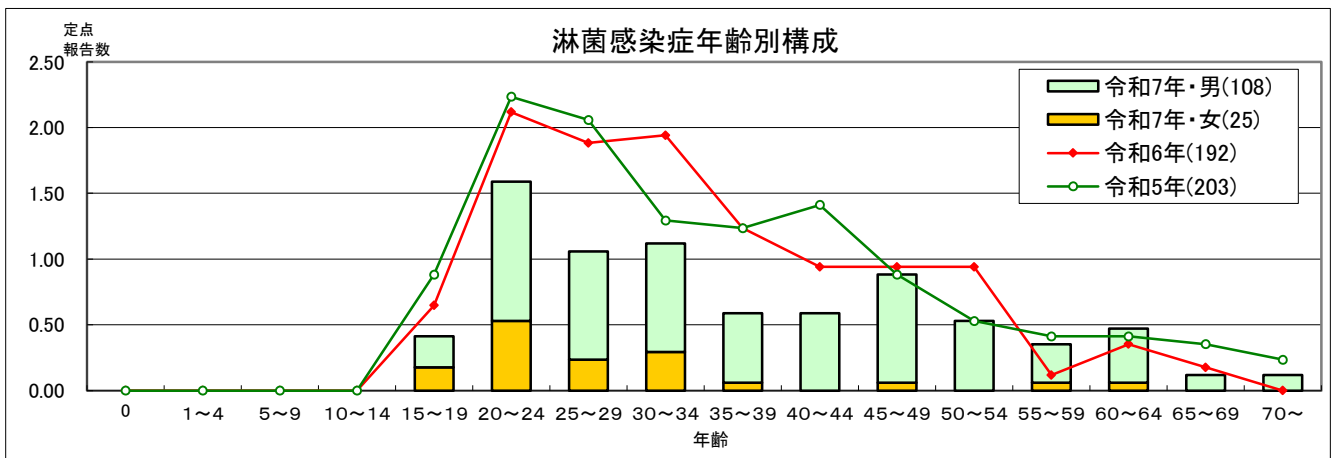
(STD定点)

定点からの年間報告数は133人(男108例, 女25例)であり, 男20歳代から30歳代前半の報告が多かった。また, 全国との年齢構成の比較では, 患者の年齢層がやや高い傾向にあった。

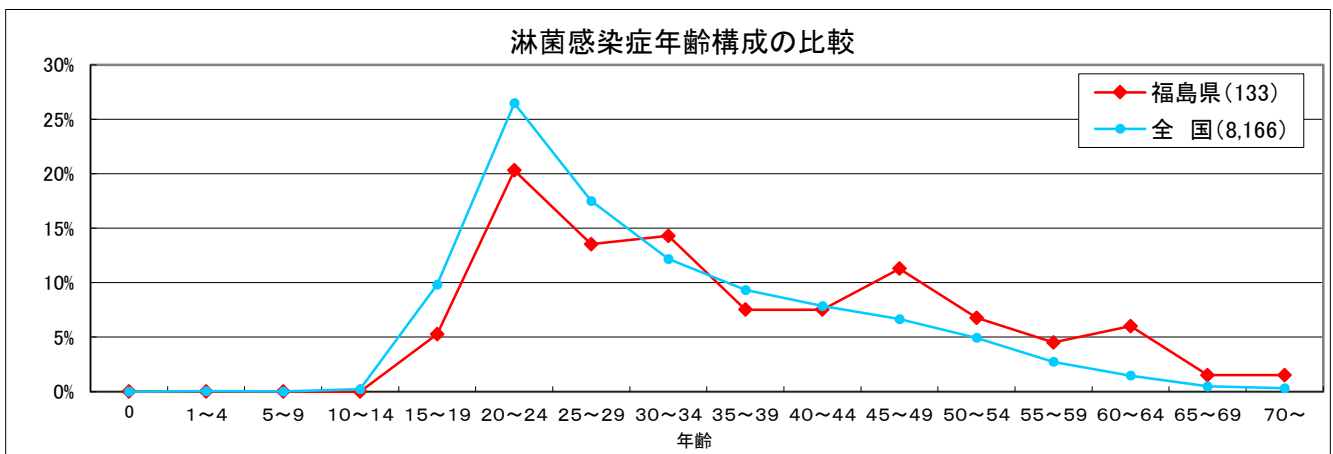


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和7年・男(108)	1.00	0.47	0.53	0.53	0.41	0.41	0.47	0.59	0.35	0.53	0.47	0.59
令和7年・女(25)	0.06	0.06	0.00	0.06	0.12	0.29	0.35	0.06	0.24	0.00	0.18	0.06
令和7年(133)	1.06	0.53	0.53	0.59	0.53	0.71	0.82	0.65	0.59	0.53	0.65	0.65
令和6年(192)	1.35	0.47	1.00	0.76	0.88	0.82	1.06	1.29	1.12	0.76	0.76	1.00
令和5年(203)	1.47	0.88	1.29	0.94	0.71	0.59	1.06	0.71	0.94	0.47	1.18	1.71

令和5～7年 県内の年齢別構成

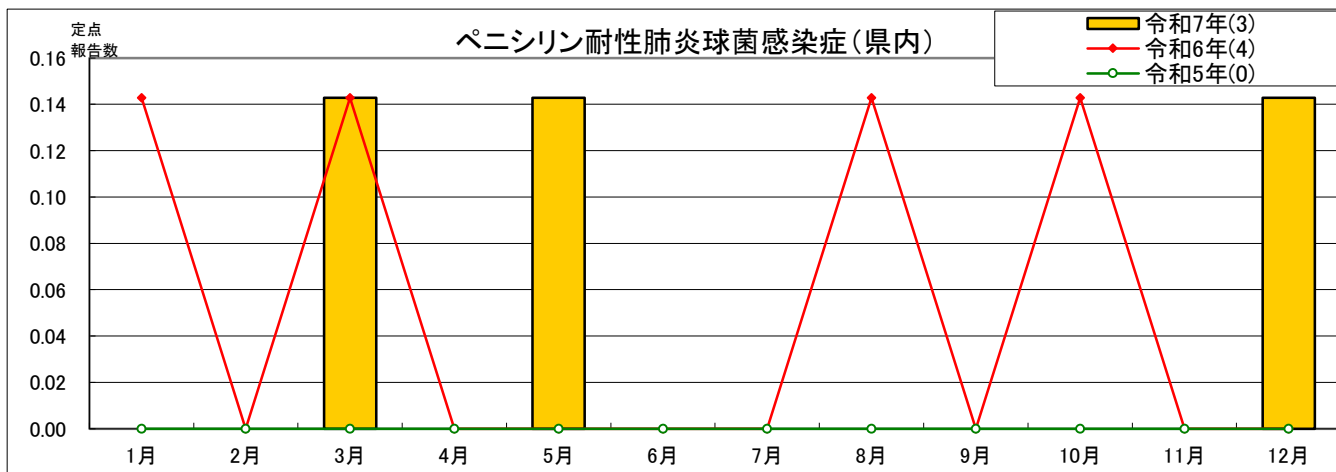


令和7年 年齢別構成の比較



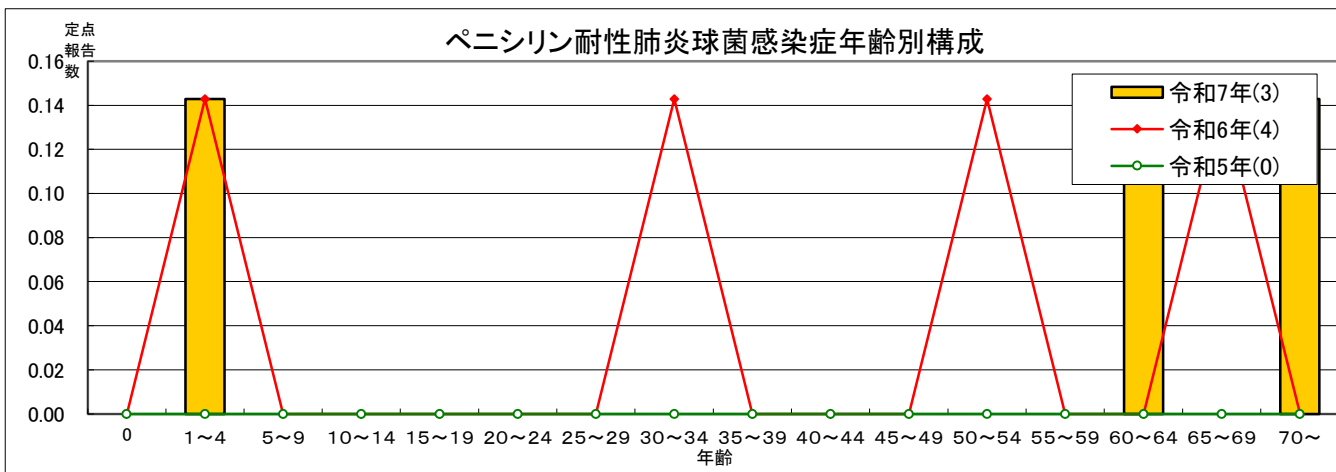
(105) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (基幹定点)

定点からの年間報告数は3例であった。

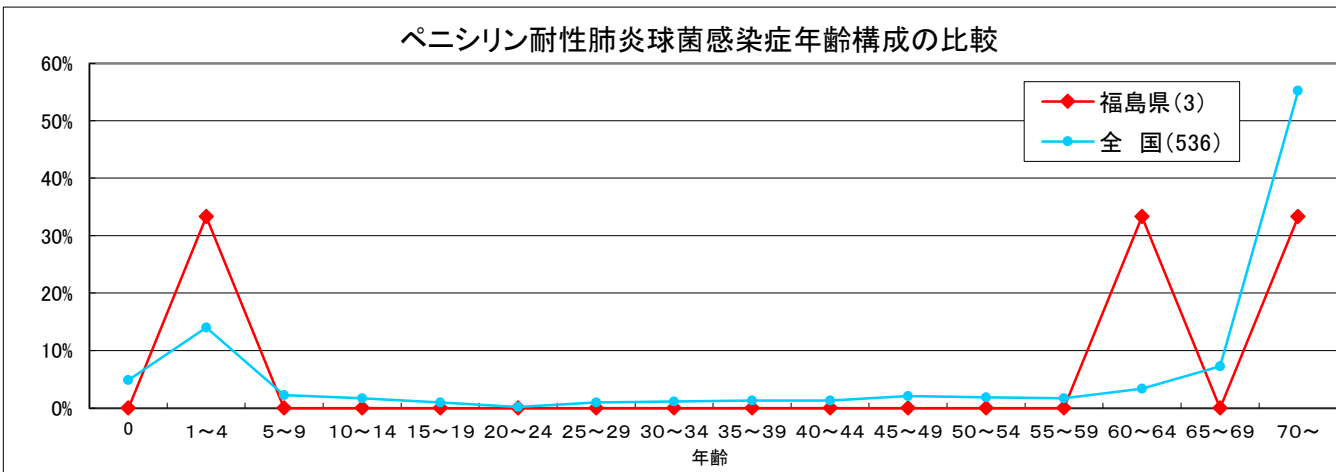


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和7年(3)	0.00	0.00	0.14	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14
令和6年(4)	0.14	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.00	0.14	0.00	0.00
令和5年(0)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

令和5～7年 県内の年齢別構成

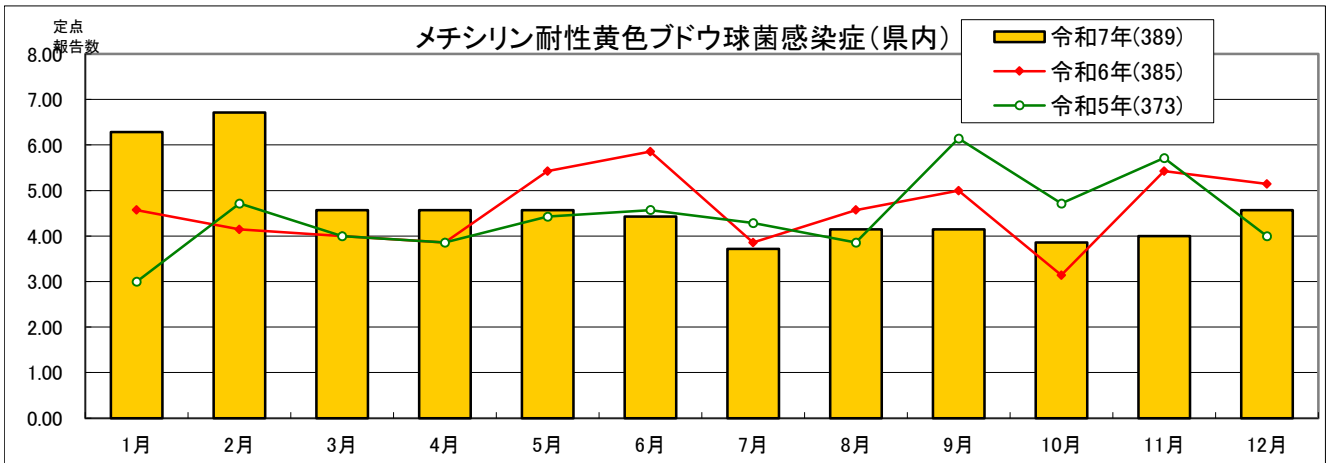


令和7年 年齢別構成の比較



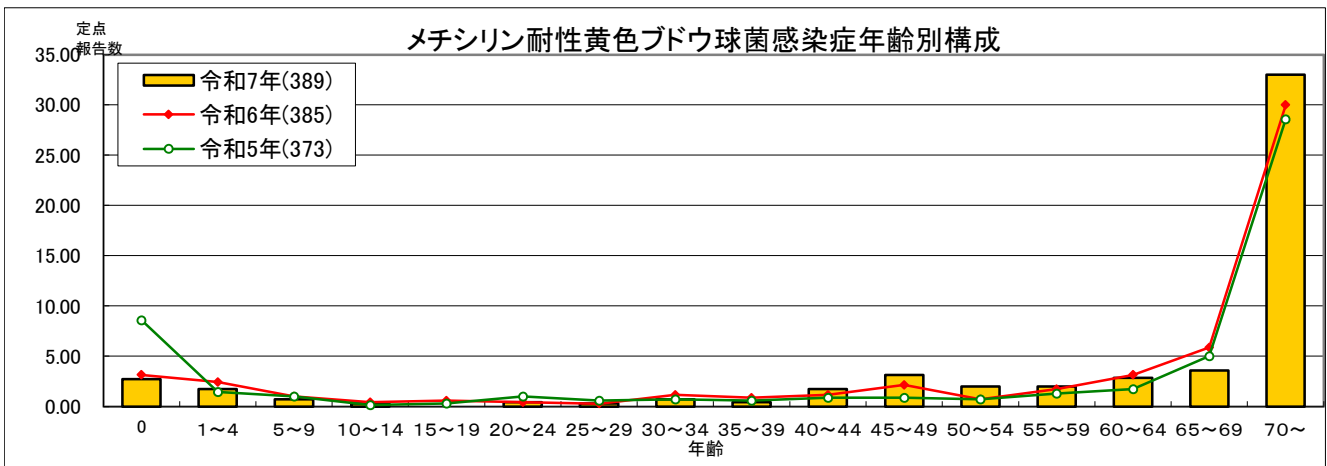
(109)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (基幹定点)

定点からの年間報告数は389例であり、70歳以上の報告が多かった。

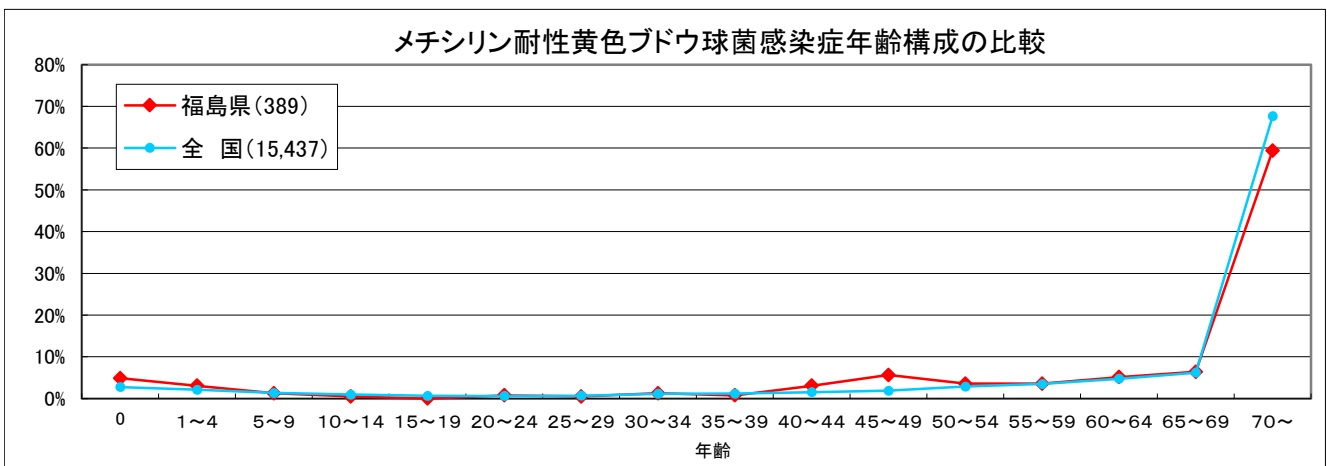


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和7年(389)	6.29	6.71	4.57	4.57	4.57	4.43	3.71	4.14	4.14	3.86	4.00	4.57
令和6年(385)	4.57	4.14	4.00	3.86	5.43	5.86	3.86	4.57	5.00	3.14	5.43	5.14
令和5年(373)	3.00	4.71	4.00	3.86	4.43	4.57	4.29	3.86	6.14	4.71	5.71	4.00

令和5～7年 県内の年齢別構成

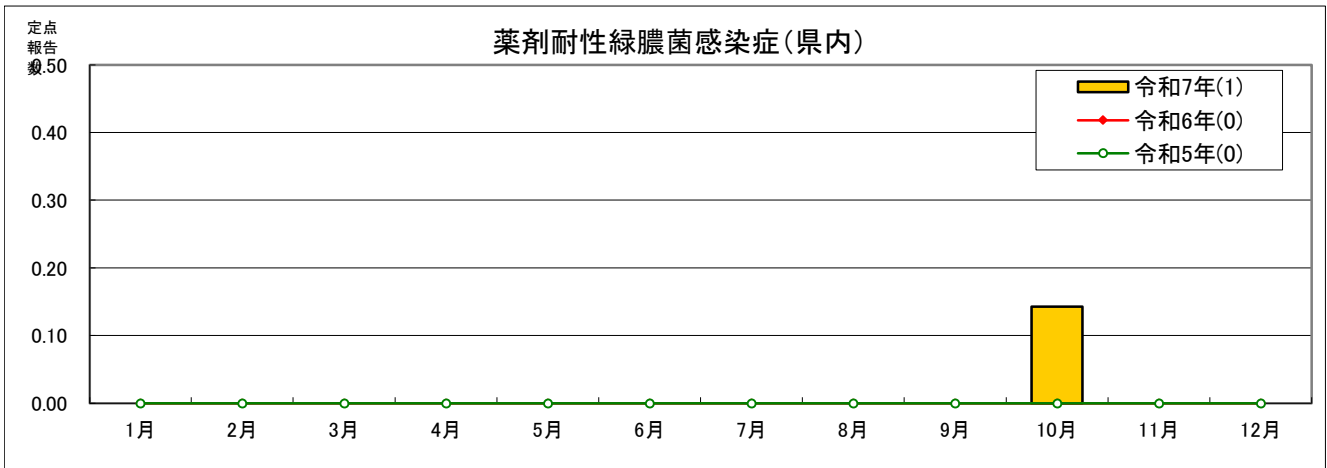


令和7年 年齢別構成の比較



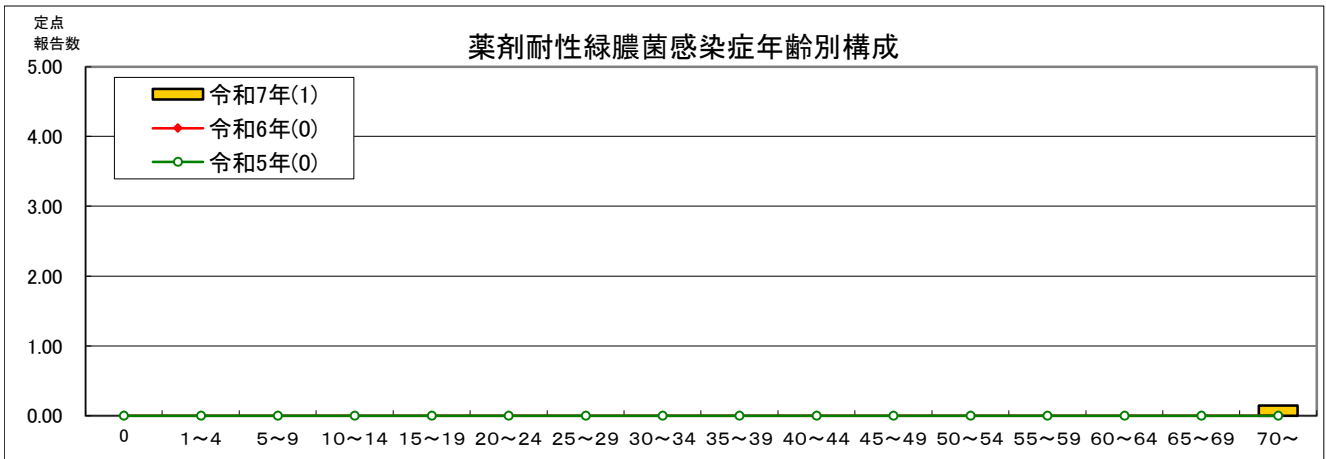
(110)薬剤耐性緑膿菌感染症（基幹定点）

定点からの年間報告数は1例であった。

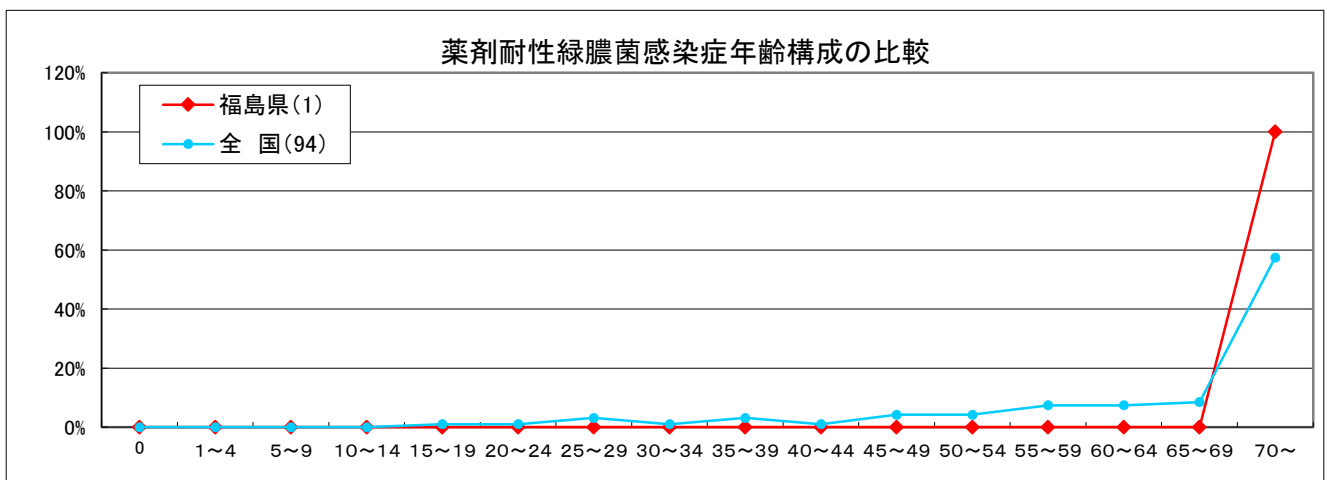


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和7年(1)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00
令和6年(0)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
令和5年(0)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

令和5～7年 県内の年齢別構成



令和7年 年齢別構成の比較



4 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症の結果報告

● 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症対象疾患（定点把握）

(118) 発熱，呼吸器症状，発しん，消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち，医師が一般に認められている医学的知見に基づき，集中治療その他これに準ずるものが必要であり，かつ，直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

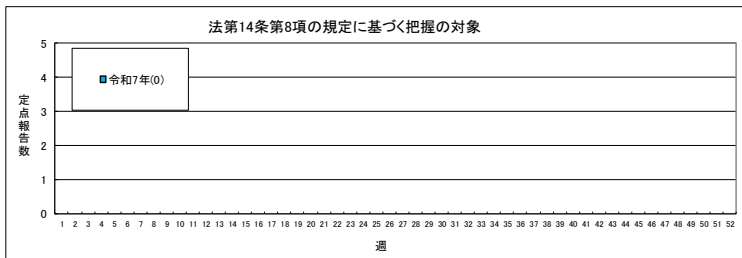
● 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症（定点把握） 地域別定点数

福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
2	1	2	1	1	3	0	0	1	11

5 法第14条第8項の規定に基づく把握の対象の結果報告

● 法第14条第8項の規定に基づく把握の対象

(119)発熱，呼吸器症状，発しん，消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち，医師が一般に認められている医学的知見に基づき，集中治療その他これに準ずるものが必要であり，かつ，直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものであって，当該感染症にかかった場合の症状の程度が重篤であるものが発生し，又は発生するおそれがあると判断し，都道府県知事が指定届出機関以外の病院又は診療所の医師に法第14条第8項に基づき届出を求めたもの。



法第14条第8項の規定に基づく把握の対象

報告はなかった。

令和7年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
福島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県北郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相模	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	合計	
福島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県北郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相模	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

年齢構成

	～0歳	～1歳	～3歳	～5歳	～7歳	～9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～	合計
R7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Ⅲ 檢 查 情 報

2025 年感染症発生動向調査事業報告（ウイルス検出報告）

藤田翔平 山本和奈 樋口真由 斎藤望 北川和寛 柏原尚子 伊藤純子¹⁾
微生物課 ¹⁾ 会津保健所

はじめに

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下，“感染症法”とする。）に基づき，県内の感染症治療，発生予防に役立つ情報の提供を目的として，対象病原体について感染症発生動向調査を行っている．本報では 2025 年のウイルス検出結果について報告する．

材 料

2025 年 1 月から 4 月までは，県内の基幹定点 7 機関，インフルエンザ定点 5 機関，小児科定点 6 機関（2025 年第 5 週以降は 5 機関），眼科定点 1 機関，2025 年 5 月から 12 月までは，2025 年 4 月 7 日の感染症法施行規則の改正により，急性呼吸器感染症が感染症法上の 5 類感染症に位置付けられ，定点サーベイランスの対象となったことに伴い，新たに選定した県内の基幹定点 7 機関，急性呼吸器感染症定点 7 機関，小児科定点 3 機関，眼科定点 1 機関から搬入された咽頭拭い液，糞便，髄液，結膜拭い液等を対象とした．なお，集計対象は搬入検体数については 12 月搬入分までの 1,040 検体，検出検体数及び検出ウイルス数については検査完了した 11 月搬入分までの 943 検体とした．

方 法

RD-A, A549, VeroE6, LLC-MK2, MDCK の 5 種類の細胞を用いてウイルス分離を実施した．分離ウイルスの同定は，遺伝子検査を行った．さらに，診断名や症状，検査材料に応じて，ノロウイルス，ロタウイルス，サポウイルス，アストロウイルス，アデノウイルス，インフルエンザウイルス，エンテロウイルス，ライノウイルス，パレコウイルス，RSウイルス，ヒトメタニューモウイルス，パラインフルエンザウイルス，新型コロナウイルス，ヘルペスウイルス，パルボウイルス等について臨床検体から直接遺伝子検査を行った．

結 果

1 保健所ごとの月別搬入検体数

月別保健所別搬入検体数を表 1 に示す．

感染症発生動向調査事業実施要綱では，検体採取数は，小児科定点は月 4 検体以上，インフルエンザ定点は流行期には週 1 検体以上，非流行期には月 1 検体以上（2025 年 4 月 7 日以降は急性呼吸器感染症定点に移行），急性呼吸器感染症定点は営業日のうち週ははじめから数えて第 2 営業日に収集されたはじめての 5 検体を目標に提出することが規定されている．

表 1 月別保健所別搬入検体数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
県北	3				31	15	20	18	26	22	25	21	181
県中	1		1		12	14	3	9	6	8	3	6	63
県南					25	15	20	24	25	30	21	19	179
会津	4	3			22	12	12	25	11	9	9	11	118
南会津		2											2
相双	8	3	4	1	10	11	10	7		2	3		59
福島市					24	15	12	16	19	24	14	16	140
郡山市	10	17	10	8	16	7	13	9	8	6	5	4	113
いわき市			4		21	21	25	27	23	25	19	20	185
総計	26	25	19	9	161	110	115	135	118	126	99	97	1,040

表2 検体材料別ウイルス検出検体数

	呼吸器系検体	糞便	髄液	結膜拭い液	尿	血液	総計
搬入検体数	979	41	6	6	3	5	1,040
検出検体数	570	23	1	4	0	0	598
検出率 (%)	58.2	56.1	16.7	66.7	0.0	0.0	57.5

2 検体材料別ウイルス検出検体数

検体材料別ウイルス検出検体数を表2に示す。搬入検体は呼吸器系検体（咽頭拭い液、鼻咽頭拭い液及び気管吸引痰）が大半を占め、979検体で94.1%であった。次いで糞便が41検体で3.9%であった。検出率は、結膜拭い液が最も多く66.7%、次いで呼吸器系検体が58.2%、糞便が56.1%であった。全体では1,040検体のうち、598検体からウイルスが検出され、検出率は57.5%であった。

3 ウイルス別検出数

採取月別ウイルス検出数を表3に示す。39種類、計673件のウイルスが検出された。また、72検体からは複数のウイルスが検出された。

1) アデノウイルス（表3：1～10）

年間を通じて44件検出された。

最も多く検出されたのは2型で15件検出された。次いで1型が11件検出された。

2) エンテロウイルス（表3：11～16）

29件検出され、最も多く検出されたのはコクサッキーウイルスA群4型が14件、次いでエコーウイルス18型が8件検出された。

3) パレコウイルス（表3：17, 18）

本県ではこれまで検出のなかった5型が3件検出された。

4) ライノウイルス（表3：19）

急性呼吸器感染症病原体サーベイランスが開始となった4月採取検体から毎月多数検出され、呼吸器症状を引き起こすウイルスの代表的な原因であった。

5) インフルエンザウイルス（表3：21～23）

A/H1pdm09 亜型が28件、A/H3 亜型が16件、B/ビクトリア系統が7件検出された。

6) ノロウイルス等胃腸炎起因ウイルス（表3：5, 31～37）

ロタウイルスが最も多く13件検出され、ノロウイルス及びアストロウイルスはそれぞれ2件検出された。

7) RSウイルス（表3：25, 26）

A型が56件、B型が47件検出された。

8) パラインフルエンザウイルス（表3：27～29）

103件検出され、3型が最も多く71件、次いで4型が28件検出された。

9) 新型コロナウイルス（表3：30）

111件検出され、7月から9月の夏季に検出数が増加した。

10) 複数のウイルス検出

呼吸器系検体71検体、糞便検体1検体から複数のウイルスが検出された。呼吸器系検体71検体うち50検体がライノウイルスの重複感染であった。

4 診断名別ウイルス検出数及び検体数

診断名別ウイルス検出数及び検体数を表4に示す。

上気道炎、下気道炎及び急性呼吸器感染症症例は合わせて604検体が搬入され、368件のウイルスが検出された。最も多く検出されたのは、ライノウイルスで157件、次いで、パラインフルエンザウイルス3型が64件、パラインフルエンザウイルス4型が26件であった。

ヘルパンギーナは、11検体が搬入され、10件のウイルスが検出され、コクサッキーウイルスA群4型が最も多く7件検出された。

感染性胃腸炎は例年と比べて搬入検体数が少なく、23検体が搬入され、19件のウイルスが検出された。最も多く検出されたのは、Rotavirus group A.G8型で10件、次いでRotavirus group A.G3型が3件検出された。

表3 採取月別ウイルス検出数

検出ウイルス	2024/ 11月	12月	2025/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
1 Adenovirus 1	1	1			2		2	1	1	2	1				11
2 Adenovirus 2							3	4	3	3	2				15
3 Adenovirus 5								1	1						2
4 Adenovirus 6									1	2		1			4
5 Adenovirus 41				1		1		1							3
6 Adenovirus 54											2				2
7 Adenovirus 56							1			1					2
8 Adenovirus 89							1								1
9 Adenovirus 108							1								1
10 Adenovirus 114						1	1	1							3
11 Coxsackievirus A2												1			1
12 Coxsackievirus A4										1	4	9			14
13 Coxsackievirus A5										1					1
14 Echovirus 3											3	1			4
15 Echovirus 11				1											1
16 Echovirus 18									2		6				8
17 Parechovirus 1										1					1
18 Parechovirus 5									3						3
19 Rhinovirus sp.	1			1	24	37	21	26	16	30	25				181
20 Human rhinovirus/enterovirus					1	3	3	2	2	1					12
21 Influenza virusA(H1pdm09)	1	8	14	1			2			1	1				28
22 Influenza virusA(H3)				3	2		3			1	1	6			16
23 Influenza virusB(ビクトリア系統)			1	2	3	1									7
24 Human Metapneumovirus			1	3	2	7	2								15
25 RSvirus A			1	1		5	3	11	12	11	10	2			56
26 RSvirus B				2		3	3	6	8	8	9	8			47
27 Parainfluenzavirus 2									1			3			4
28 Parainfluenzavirus 3						10	32	15	8	3	2	1			71
29 Parainfluenzavirus 4						1	3	8	8	5	3				28
30 SARS-CoV-2			4	2	1	9	9	4	15	21	31	15			111
31 Astrovirus 1								1							1
32 Astrovirus 4									1						1
33 Norovirus G II.4[P16]				1											1
34 Norovirus G II.7			1												1
35 Rotavirus group A.G3							3								3
36 Rotavirus group A.G8						6	3	1							10
37 Sapovirus G I									1						1
38 Human herpesvirus 4											1				1
39 Parvovirus B19						1									1
総計	3	9	22	14	11	72	113	78	93	79	107	72			673

咽頭結膜熱は、12 検体が搬入され、12 件のウイルスが検出された。そのうちアデノウイルスは 1 型が 3 件、2 型、5 型、6 型及び 114 型がそれぞれ 1 件ずつ検出された。

流行性角結膜炎は 5 検体が搬入され、アデノウイルス 56 型が 2 件、アデノウイルス 54 型が 1 件検出された。

原体定点医療機関の諸先生方に深謝いたします。

謝 辞

検体採取等本事業に御協力いただいた病

表4 診断名別ウイルス検出数及び検体数

検出ウイルス	診断名															総計		
	上気道炎	下気道炎	急性呼吸器感染症	インフルエンザ	RSウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症	手足口病	ヘルパンギーナ	感染性胃腸炎	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	突発性発疹	熱性けいれん※	無菌性髄膜炎	急性脳症・脳炎		伝染性紅斑	その他
Adenovirus 1	4			1						3							3	11
Adenovirus 2	5	1	1		1				1	1			2				3	15
Adenovirus 5	1									1								2
Adenovirus 6	2				1					1								4
Adenovirus 41									2								1	3
Adenovirus 54											1						1	2
Adenovirus 56											2							2
Adenovirus 89	1																	1
Adenovirus 108				1														1
Adenovirus 114	1									1							1	3
Coxsackievirus A2	1																	1
Coxsackievirus A4	6		1						7									14
Coxsackievirus A5								1										1
Echovirus 3	4																	4
Echovirus 11														1				1
Echovirus 18	3	1					3										1	8
Parechovirus 1	1																	1
Parechovirus 5	1	1			1													3
Rhinovirus sp.	112	22	23	1	5	2	1	1	1	4							9	181
Human rhinovirus/enterovirus	7	3	1							1								12
Influenza virusA(H1pdm09)				27			1											28
Influenza virusA(H3)				15								1						16
Influenza virusB(ピクトリア系統)	1	1		5														7
Human Metapneumovirus	4	3	1														7	15
RSvirus A	11	4	3		36												2	56
RSvirus B	14	2	8		18		1	1							2		1	47
Parainfluenzavirus 2	2	1	1															4
Parainfluenzavirus 3	39	19	6		2	1						1					3	71
Parainfluenzavirus 4	12	11	3		1												1	28
SARS-CoV-2	13	2	4			91						1						111
Astrovirus 1																	1	1
Astrovirus 4													1					1
Norovirus GⅡ.4[P16]									1									1
Norovirus GⅡ.7									1									1
Rotavirus group A.G3									3									3
Rotavirus group A.G8									10									10
Sapovirus GⅠ													1					1
Human herpesvirus 4																	1	1
Parvovirus B19																1		1
総計	245	71	52	50	65	94	6	10	19	12	3	3	4	1	2	1	35	673
搬入検体数	359	102	143	99	63	101	14	11	23	12	5	13	7	5	3	8	72	1,040

※無熱性けいれんを含む

2025 年感染症発生動向調査事業報告（細菌検出報告）

菊地理慧 片桐彩香 賀澤優¹⁾ 渡邊奈々子 柳沼幸²⁾ 柏原尚子 伊藤純子³⁾
微生物課 ¹⁾ 県中支所 ²⁾ 理化学課 ³⁾ 会津保健所

はじめに

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、県内の感染症の治療や発生予防に役立つ情報の提供を目的として、対象病原体について感染症発生動向調査を行っている。本報では 2025 年の細菌検出結果について報告する。

材 料

2025 年 1 月から 12 月までの間に、県内の 3 定点医療機関から搬入された 31 件を対象とした。

方 法

A 群溶血性レンサ球菌起因菌等を「病原体検出マニュアル」（国立健康危機管理研究機構作成）に従い検索した。

結 果

1 検体の概要

検体の受付月別・検査材料別搬入検体数を表 1 に示す。

搬入された検体はすべて輸送培地による搬入であった。

保健所別検体数を表 2 に示す。

2025 年は会津、郡山市保健所及びいわき市保健所管内の医療機関から検体搬入があった。その他の保健所からの検体搬入はなく、地域に偏りがあった。

表 2 保健所別検体数

保健所名	検体数
会津	4
郡山市	21
いわき市	6
計	31

2 検査材料別検出状況

搬入された検体は、咽頭拭い液 31 検体であり、そのうち 27 検体から細菌が検出され、検出率は 87.1 %であった。

3 細菌検出状況

採取月別細菌検出状況を表 3 に示す。

検出された 27 株は、すべて A 群溶血性レンサ球菌（以下、“A 群溶レン菌”とする。）であった。また、検出数は過去 10 年で最も多かった 2024 年（51 株）の約半数となった。

A 群溶レン菌の血清型の内訳として、最も多く分離されたのは T-4 型の 19 株（70.4 %）、次いで T-1 型が 6 株（22.2 %）、T-B3264 型が 1 株（3.7 %）であった。また、T 型別不能が 1 株（3.7 %）であった。図 1 に本調査による 5 年間の A 群溶レン菌の T 型別年次推移を示す¹⁻⁴⁾。2024 年は T-12 が 23 株（46.0 %）で最も多く、T-4 は 5 株（10.0 %）であったが、2025 年は T-12 の検出はなかった。

A 群溶レン菌の年齢別検出状況を図 2 に示す。2025 年の患者の年齢は 2 歳を除く 1 歳～9 歳であった。検体数は 3 歳～6 歳で最も

表 1 受付月別・検査材料別搬入検体数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
咽頭拭い液	2	4	2	3	2	3	8	2	2	1	1	1	31
（うがい液）	(2)	(4)	(1)	(1)			(2)						(10)
（鼻腔ぬぐい液）								(1)					(1)
計	2	4	2	3	2	3	8	2	2	1	1	1	31

表3 採取月別細菌検出状況 (2024年12月～2025年11月)

分離細菌	2024 12月	2025 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群 T-1		1	1			1	2	1					6
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群 T-4	2	1	1	2	3	1	4	1	2	1	1		19
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群 T-B3264			1										1
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群 T型別不能		1											1
総計	2	3	3	2	3	2	6	2	2	1	1	0	27

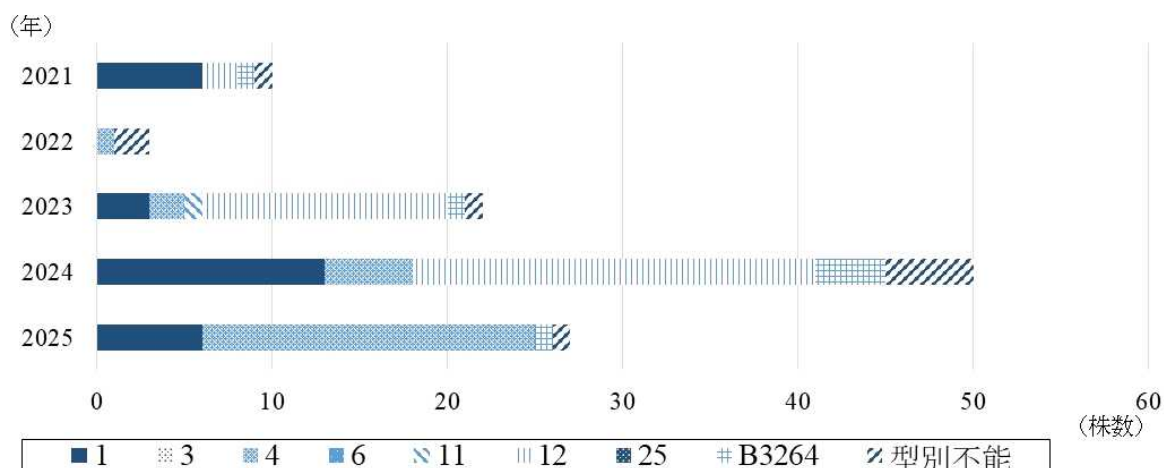


図1 A群溶レン菌のT型別年次推移

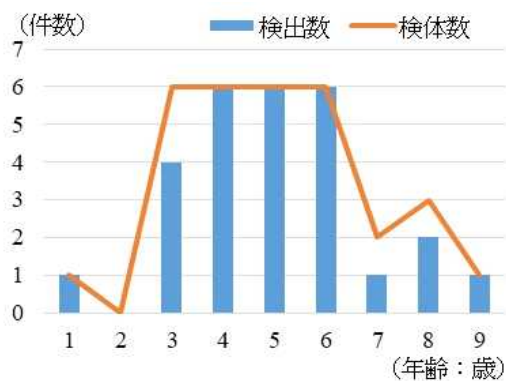


図2 A群溶レン菌の年齢別検出状況

多く、各6検体であった。検出数は4歳～6歳で最も多く6検体すべてで検出された。

謝辞

検体採取等本事業に御協力いただいた病原体定点の医療機関の諸先生方に深謝いたします。

引用文献

- 1) 小林彩香, 藤田翔平, 山田浩子, 他. 2021年感染症発生動向調査事業報告(細菌検出報告). 福島県衛生研究所年報2021; 39: 49-51
- 2) 片桐彩香, 賀澤優, 菅野奈美, 他. 2022年感染症発生動向調査事業報告(細菌検出報告). 福島県衛生研究所年報2022; 40: 84-85
- 3) 渡邊奈々子, 片桐彩香, 賀澤優, 他. 2023年感染症発生動向調査事業報告(細菌検出報告). 福島県衛生研究所年報2023; 41: 83-84
- 4) 賀澤優, 片桐彩香, 渡邊奈々子, 他. 2024年感染症発生動向調査事業報告(細菌検出報告). 福島県衛生研究所年報2024; 42: 印刷中

令和 7 年
福島県感染症発生動向調査事業報告書
令和 8 年 3 月 発行

発 行：福島県衛生研究所

福島県感染症情報センター

〒960-8560

福島県福島市方木田字水戸内16番6号

TEL 024-546-2837

FAX 024-546-8364

E-mail eiseikenkyuu@pref.fukushima.lg.jp

URL <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21910a/>